

薬理学試験問題 (安原)

(この問題用紙は持ち帰ってよい)

問 1 GCP の説明について正しいものはどれか。

- a. 前臨床試験のガイドライン
- b. 臨床試験のガイドライン
- c. 医薬品の製造のガイドライン
- d. 市販後調査のガイドライン
- e. 医薬品の回収のガイドライン

問 2 ヘルシンキ宣言について正しいものはどれか。

- a. 臓器移植の倫理を定める
- b. 遺伝子組換え実験の倫理を定める
- c. 生殖医療の倫理を定める
- d. ヒトを対象とする試験の倫理を定める
- e. 動物実験の倫理を定める

[問 3～7] 次の文章の () 内に当てはまる最も適当な語句を下欄の a～e から選び、記号を解答欄に書け。

薬を反復投与していると (問 3) や依存が生じることがある。薬物依存にはその薬物がないと寂しいという (問 4) とやめれば (問 5) を生じるほどの (問 6) とがある。薬物を治療目的以外に自ら勝手に社会規範に反して用いてしまうことを (問 7) という。

- a. 精神的依存
- b. 身体依存
- c. 耐性
- d. 乱用
- e. 禁断症状

[問 8～11] 左記の薬物分類にあてはまる薬物を右の欄 (a～e) から一つ選び、記号を解答欄に書け。

- | | |
|-----------|------------|
| 問 8 毒薬 | a. フェンタニル |
| 問 9 覚醒剤 | b. ニコチン |
| 問 10 向精神薬 | c. アンフェタミン |
| 問 11 麻薬 | d. ベクロニウム |
| | e. ジアゼパム |

問 12 薬物の消化管吸収について正しいものはどれか。

- a. イオン化した薬物は吸収されやすい
- b. 脂溶性の高い薬物の方が吸収されやすい
- c. 分子量の大きい薬物の方が吸収されやすい
- d. 食前よりも食後投与の方が吸収されやすい
- e. 液剤よりも錠剤の方が吸収されやすい

問 13 薬物血中濃度を測定しながら治療に用いる薬物はどれか。

- a. インスリン
- b. ジゴキシン
- c. ペニシリン
- d. レボフロキサシン
- e. ワルファリン

問 14 妊婦に対して薬物を投与する時に、胎児の催奇形の絶対過敏期はどれか。

- a. 受精前から妊娠 3 週末
- b. 妊娠 4 週から 7 週末
- c. 妊娠 8 週から 15 週
- d. 妊娠 16 週から分娩まで

[問 15～18] 左記の薬物が妊婦への投薬を避けるべき理由を右の欄から選び、記号を解答欄に書け。

- | | |
|-----------------|---------------|
| 問 15 エナラプリル | a. 骨発育障害 |
| 問 16 クロラムフェニコール | b. 羊水過少症、胎児死亡 |
| 問 17 ゲンタマイシン | c. グレイ症候群 |
| 問 18 テトラサイクリン | d. 難聴、腎障害 |

[問 19～22] 次の文章の () 内に当てはまる最も適当な語句を下欄の a～d から選び、記号を解答欄に書け。

交感神経の興奮により、気管は (問 19) し、皮膚や内臓への血流は血管の (問 20) により (問 21) し、その分骨格筋への血流が (問 22) する。

- a. 増加
- b. 減少
- c. 拡張
- d. 収縮

問 23 揮発性麻酔薬はどれか。

- a. ケタミン
- b. チオペンタール
- c. セボフルラン
- d. フェンタニル
- e. プロポフォール

[問 24～28] 左記の酵素を阻害する薬物を右の欄から一つ選び、記号を解答欄に書け。

- | | |
|-------------------|------------|
| 問 24 炭酸脱水素酵素 | a. プラバスタチン |
| 問 25 シクロオキシゲナーゼ | b. カプトプリル |
| 問 26 コリンエステラーゼ | c. アスピリン |
| 問 27 HMG-CoA 還元酵素 | d. ネオスチグミン |
| 問 28 アンジオテンシン変換酵素 | e. アセタゾラミド |

[問 29～33] 左記の受容体を遮断する薬物を右の欄から一つ選び、記号を解答欄に書け。

- | | |
|----------------------------|--------------|
| 問 29 α_1 受容体 | a. メトプロロール |
| 問 30 β_1 受容体 | b. ファモチジン |
| 問 31 H_1 受容体 | c. ジフェンヒドラミン |
| 問 32 H_2 受容体 | d. グラニセトロン |
| 問 33 5-HT ₃ 受容体 | e. プラゾシン |

問 34 パーキンソン病の治療に用いる薬物はどれか。

- a. イミプラミン
- b. クロルプロマジン
- c. 炭酸リチウム
- d. フルボキサミン
- e. レボドパ

<次頁あり>